

2010年7月28日

千葉での合成ゴム設備増強を決定

宇部興産株式会社

宇部興産株式会社（社長：竹下道夫）は、日本や中国をはじめとするアジア地区でのポリブタジエンゴム（BR）の需要拡大に対応するため、千葉石油化学工場（市原市）のBR製造設備を1.5万t/年増強することを決定した。これにより、生産能力は9.5万トン/年から11.0万トン/年に拡大する。総投資額は14億円で、2012年8月に稼動開始の予定。

BRは、タイヤ、耐衝撃性ポリスチレン（HIPS）及び靴底向けが主な用途であり、最大のマーケットであるアジアを中心に今後5%近い需要の伸びが見込まれている。中でもタイヤについては、大手タイヤメーカーを中心に多くの需要家が能力拡大を進めており、今回の増設はこの需要増に対応するもの。

宇部興産は現在、BRを世界3拠点で生産しており、グループの生産能力は千葉工場（9.5万t/年）、タイ（7.2万t/年）、中国（5万t/年）の合計21.7万t/年で、世界第4位のBRメーカー。

2011年末には中国での増強（2.2万t/年増）を予定しており、また、今回の設備増強の第二段階として2013年8月の稼動を目指し、更に1.5万トン/年の能力増強についても検討を進めている。

これらの能力増強により3拠点体制を最大限に活用し、伸張するアジア市場における更なるプレゼンスの強化を図るとともに需要家の期待に応えていく。

以上

【参考】千葉石油化学工場：BR製造設備

